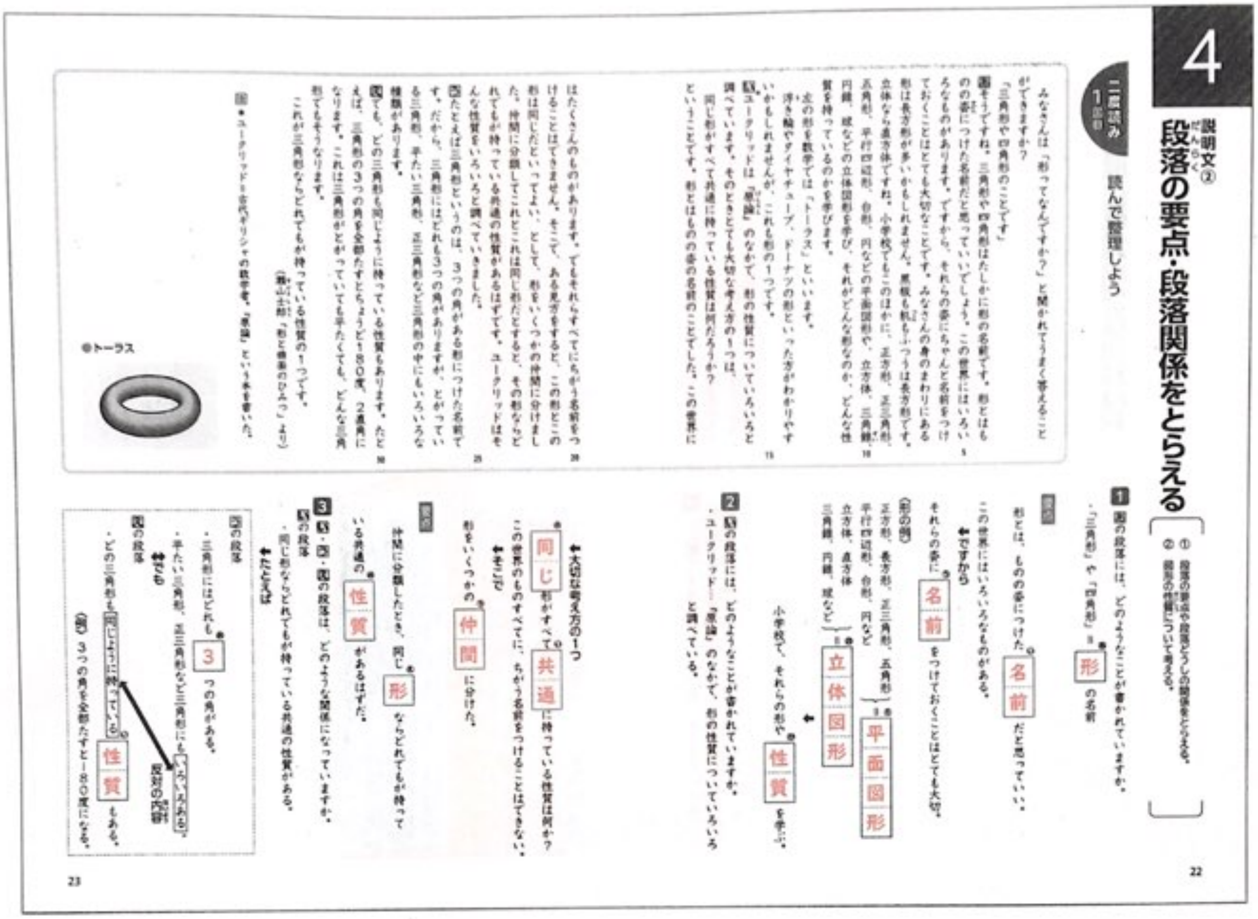
22・23ページの答え



4 説明文② 段落の要点・段落関係をとらえる

① 段落の要点や段落どうしの関係をとらえる。
② 図形の性質について考える。

二段読み 1回目 読んで整理しよう

みなさんは「形ってなんですか？」と聞かれてうまく答えることができますか？

「三角形や四角形のことです」

［あ］そうですね。三角形や四角形はたしかに形の名前です。形とはものの姿につけた名前だと思っていいでしょう。この世界にはいろいろなものがあります。ですから、それらの姿にちゃんと名前をつけておくことはとても大切なことです。みなさんの身のまわりにある形は長方形が多いかもしれません。黒板も机もふつうは長方形です。立体なら直方体ですね。小学校でもこのほかに、正方形、正三角形、五角形、平行四辺形、台形、円などの平面図形や、立方体、三角錐、円錐、球などの立体図形を学び、それがどんな形なのか、どんな性質を持っているのかを学びます。

次の形を数学では「トーラス」といいます。浮き輪やタイヤチューブ、ドーナツの形といった方がわかりやすいかもしれませんが、これも形の1つです。

［い］ユークリッドは『原論』のなかで、形の性質についていろいろと調べています。そのときとても大切な考え方の1つは、同じ形がすべて共通に持っている性質は何だろうか？ということです。形とはものの姿の名前のことでした。この世界にはたくさんのものがあります。でもそれらすべてにちがう名前をつけることはできません。そこで、ある見方をすると、この形とこの形は同じだといってよい、として、形をいくつかの仲間に分けました。仲間に分類してこれとこれは同じ形だとすると、その形ならどれでもが持っている共通の性質があるはずです。ユークリッドはそんな性質をいろいろと調べていきました。

［う］たとえば三角形というのは、3つの角がある形につけた名前です。だから、三角形にはどれも3つの角がありますが、とがっている三角形、平たい三角形、正三角形など三角形の中にもいろいろな種類があります。

［え］でも、どの三角形も同じように持っている性質もあります。たとえば、三角形の3つの角を全部たすとちょうど180度、2直角になります。これは三角形がとがっていても平たくても、どんな三角形でもそうなります。

これが三角形ならどれでもが持っている性質の1つです。

（瀬山士郎「形と構造のひみつ」より）

注●ユークリッド＝古代ギリシャの数学者。『原論』という本を書いた。

●トーラス

1 ［あ］の段落には、どのようなことが書かれていますか。
・「三角形」や「四角形」＝ 形 の名前
要点
形とは、ものの姿につけた 名前 だと思っていい。
この世界にはいろいろなものがある。
←ですから
それらの姿に 名前 をつけておくことはとても大切。
〈形の例〉
正方形、長方形、正三角形、五角形 ＝ 平面図形
平行四辺形、台形、円など
立方体、直方体
三角錐、円錐、球など ＝ 立体図形
小学校で、それらの形や 性質 を学ぶ。

2 ［い］の段落には、どのようなことが書かれていますか。
・ユークリッド…『原論』のなかで、形の性質についていろいろと調べている。

22

←大切な考え方の1つ
同じ 形がすべてに 共通 に持っている性質は何か？
この世界のものすべてに、ちがう名前をつけることはできない。
←そこで
形をいくつかの 仲間 に分けた。
要点
仲間に分類したとき、同じ 形 ならどれでもが持っている共通の 性質 があるはずだ。

3 ［い］・［う］・［え］の段落は、どのような関係になっていますか。
［い］の段落
・同じ形ならどれでもが持っている共通の性質がある。
←たとえば
［う］の段落
・三角形にはどれも 3 つの角がある。
・平たい三角形、正三角形など三角形にも いろいろある。
⇔でも
［え］の段落
・どの三角形も 同じように持っている 性質 もある。
例 3つの角を全部たすと180度になる。
反対の内容

23

---

1 ［あ］の段落は、その前の「みなさんは『形ってなんですか？』と聞かれてうまく答えることができますか？」「三角形や四角形のことです」という記述を受けて始まっています。「三角形や四角形はたしかに形の名前」だとみとめたうえで、「形とはものの姿につけた名前だと思っていい」と述べています。これがこの段落の要点で、後は補足的な内容です。

2 ［い］の段落では、まず、ユークリッドが形の性質について調べたときの、大切な考え方の1つとして「同じ形がすべて共通に持っている性質は何だろうか？」ということを挙げています。そして、このことについてさらにくわしく述べ、「仲間に分類してこれとこれは同じ形だとすると、その形ならどれでもが持っている共通の性質があるはず」だとまとめています。これが、形の性質についての重要な考え方で、段落の要点です。

3 ［い］の段落の最後の「ユークリッドはそんな性質（＝同じ形が持っている共通の性質）をいろいろと調べていきました」を受けて、［う］の段落が「たとえば」で始まっています。「3つの角」がある形を「三角形」と名前をつけたが、「いろいろな種類があ」ると述べています。続く［え］の段落の「でも」は、〝「いろいろな種類があ」っても、「同じ形」であるから〟という意味をふくんでいると考えられます。〝「同じ形」である「三角形」ならどれでもが持っている「共通の性質」〟の一つの例として、「3つの角を全部たすとちょうど180度」となることを挙げています。

国語のコア

1 段落の要点のとらえ方
① キーワードに注目し、筆者の主張の中心となる文に注目する。
② 中心となる文と、それを補足する文をおさえる。
③ 段落の中心となる内容をとらえる。

2 段落関係のとらえ方
① 指示語や接続語に注目して、段落のつながり方を考える。
② 同じ話題を取り上げている段落は、一つのまとまりと考える。
③ 問いと答え、考えと理由など、段落どうしの関係をおさえる。